



令和3（2021）年2月5日

関西大学
八幡市
独立行政法人都市再生機構 西日本支社
京都府

関大生によるUR都市機構男山団地リノベーション

～「住みたい、住みつづけたい、男山」を目指した‘地域活性化’プロジェクト～

関西大学・八幡市及び独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）の三者は、京都府知事立会いのもと「住みたい、住みつづけたい、男山」を目指して、平成25年10月に「男山地域まちづくり連携協定」を締結し、京都府八幡市男山地域の再生に取り組んでおります。

この取組みの一環として、関西大学の学生が、団地にお住まいの方から集めたニーズをUR賃貸住宅に反映させたことで生まれたリノベーション住宅を、令和3年2月から一般公開し、入居者の募集を行います。

なお、現地での住宅内覧の他、コロナ禍への対応としてバーチャルモデルルーム（スマホでお部屋がご確認いただけます。）からも住宅内覧できますので、ぜひご覧ください。



リノベーション住戸と設計者の学生たち

（左：「小さく広く住む」 右上：「ドマとマドから広がる」 右下：関西大学の設計を行った学生達

お問い合わせは下記へお願いします。

独立行政法人都市再生機構 西日本支社

京奈エリア経営部 企画課 （電話）075-253-6105

総務部 総務課（広報担当） （電話）06-6969-9008

本件は、近畿建設記者クラブ、森ノ宮記者クラブ、京都府政記者室、八幡市政記者会、大阪科学・大学記者クラブ等への同時配信にてご案内しております。

1 プロジェクト概要

関西大学団地再編プロジェクト（研究代表者：江川直樹教授）、八幡市、京都府及びUR都市機構は、平成25年10月25日の「男山地域まちづくり連携協定」の締結以降、地域の再生に協働して取り組んできました。そして地域コミュニティ活性化やセルフリノベーション特区（自分の好みの住宅に自ら改修できる住宅を集めたエリア）の供給などの先導的な活動が平成28年都市住宅学会業績賞を受賞するなど、社会的にも非常に高い評価を受けております。

関西大学の学生たちは、UR都市機構男山団地内に365日開設しているコミュニティ活動拠点、「だんだんテラス」に日々常駐し、団地にお住まいの方とのコミュニケーションを図りながら、住まいのニーズを集め、従来から実施してきたC地区に加え、今回初めてD地区において、新しい団地の暮らし方を提案する住戸が完成しました。

完成した住戸については、令和3年2月13日（土）から2月20日（土）まで一般公開を行い、2月21日（日）に申込受付を行います。

これからも「住みたい、住みつけたい、男山」を目指して地域再生のための取り組みを四者で連携し、進めてまいります。

2 UR男山団地の概要

交通	京阪本線「樟葉」駅から京阪バス約8分 京阪本線「石清水八幡宮」駅から京阪バス約11分 「中央センター前」下車他	所在地	京都府八幡市男山竹園 他
構造	鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造 5・8・10・11・14階建（147棟）	管理戸数	4,589戸
完成年月	昭和47（1972）年3月～ 昭和51（1976）年7月	住戸型式	1R～3DK

3 募集概要について

令和2年度の募集概要については以下の通りです。

- （1）内覧期間：令和3年2月13日（土）～令和3年2月20日（土） 午前10時～午後4時
内覧受付は男山団地募集案内所（男山団地B48号棟2階）
- （2）申込受付：令和3年2月21日（日） 午前10時～午前10時30分
申込受付は男山団地中央集会所
（男山団地B48号棟2階北側 管理サービス事務所・集会所）
- （3）募集住戸：2戸
- （4）入居可能日：3月中旬（予定）

コロナ禍の対応で内覧・申込受付の変更等のお知らせにつきましては、UR都市機構のホームページ※、男山団地募集案内所（TEL075-982-8095）でご案内しております。

※https://www.ur-net.go.jp/west/case/otokoyama_danchi/index.html

4 リノベーション住戸について

募集住戸は、以下の通りです。

部屋番号 (型式)	名称及び概要	募集家賃 専有面積	写真
D17 号棟 406 号室 (1R) 	「小さく広く住む」 北側の窓から外を見ると目の前に集会所がある一方、緑道にも面していることから、ひと気がありながらも緑に囲まれた住戸となっています。 居室内の襖、鴨居、押入れを撤去することにより、すっきりとした広いリビングダイニングと南北方面の抜けと開放感のあるワンルームの住戸としました。	45,100 円 39.93 m ²	
C14 号棟 102 号室 (1R) 	「ドマとマドから広がる」 1 階住戸の北側の居室全体を土間とすることで、友達やご近所の方が集い、談笑できるスペースとし、南側はリビングダイニングと寝室としました。 土間にカーペットを敷いたり、机を設置してワーキングスペースにしたり、また、土間と南側の境の襖を開くことでリビングダイニングと土間がつながり、広々とした空間ができるため住む人の様々な使い方が広がります。	51,600 円 46.68 m ²	

※スマートフォン等で各お部屋をご覧ください。（①令和3年3月1日以降はご覧いただけません。②申込時は実際の住戸をご確認いただくようお願いいたします。③住戸内の家具などは展示品のため、ご契約時には撤去した状態での引き渡しとなります。）

5 所在地



6 参考情報

■ UR都市機構 男山団地特設ページ

https://www.ur-net.go.jp/west/case/otokoyama_danchi/index.html

男山団地の情報を日々更新しております。

■ だんだんテラスFacebookページ

<https://ja-jp.facebook.com/dandanterrace>



男山団地（C・D地区）



だんだんテラスとこどもたち



だんだんテラス



だんだんラボ（DIYサポート）



毎朝のラジオ体操



だんだん朝市

以 上